

スコラ通信

The Journal of Scuola dei Bambini Vol.002 Jun. 2022

スペシャルレポート【開催地オランダ】
Montessori Inspiration Weekend に参加して
モンテッソーリ教育の最適な開始年齢は？
卒園児の部屋
活動報告
サマースクール、ワールドツアーのおさそい

コ
コ
ロ
ニ
ヤ
ニ
ス



Montessori Inspiration Weekendに参加して

2022年5月13日(金)～15日(日)にかけて、オランダのデルフトにて開催された'Montessori Inspiration Weekend'に参加してきました。

オランダには、国際モンテッソーリ協会(AMI)の本部がありますが、オランダからだけでなく、イタリアやベルギー、リトアニアなど、ヨーロッパ各地より90人以上の参加者が集まり、共に学んできました

合同会社カーサ・デ・バンビーニ 代表、NPO法人Scuola dei Bambini 代表理事
大谷育美

スピーカーは、0-6歳レベルにジュディ・オライオン先生、6-12歳レベルにカーラ・フォスター先生。お二人ともマリア・モンテッソーリ博士、モンタナーロ博士から学んだ直弟子で、AMIを代表する先生方です。現場経験も長く、モンテッソーリ教員養成のトレーナーや試験官も務めるなど、モンテッソーリ教育に深く貢献されておられます。

モンテッソーリ教育小学校レベルの学び

今回私が学んだのは、小学校レベルのカーラ先生の講義。まず感じたのは、3-6歳、0-3歳レベルのトレーニングコースで勉強してきたのにも関わらず、私はモンテッソーリ教育のほんの一部分しか知らなかった!ということ。そしてモンテッソーリ教育の小学校レベルでは新しい、さらに大きなモンテッソーリの世界が広がっていました。同時に、これは私たち大人にとって大きな「学びのパラダイムシフト」が必要になる挑戦であることを実感し、日本でそれが可能なのか?正直なところとても不安に感じています。

'I wonder Why?'から始まる学び

子どもが「なぜ?」と言った時、その瞬間が学びのスタートになります。「なんでだろうね。調べてみる?」と子どもをこの世界の法則に誘います。この世界は、子どもたちが感覚を研ぎ澄ませ、多くの謎に入り込んでくるのを待っています。大切なのは、疑問や質問を止めないこと。子どもの「なんで?なんで?」攻撃に大人は時々疲れてしまいます。この「なんで?」の質問は5～6歳を境にその質が変わります。それまではただ事実を知りたい、名前を知りたいだけだったのが、法則を知りたがったり、起源を知りたがったりするなどの深い疑問に変わってきます。その時にはただ答えを与えるだけではもったいない。調べ方や見つけ方を示してあげたり、特に有効なのが、外に出ていくことです。

Going Out!

これは、モンテッソーリ小学校レベルの大切なキーワード。全ては、外に出て探求することから始まります。外に出かけ、探求し、発見し、調べて、自分の言葉に置き換えていく。体験したことを自分の言葉で説明できるようになることがゴールです。

教室の中の受動的な学びとは180度違います。先生が前に立ち、子どもたちは一斉に50分間、先生の方を向いて座り、黒板板書、暗記…ただ一方的に与えられる学びです。

そうではなく、自ら発見し、自らの言葉を使って表現していくことこそが学びになるのです!

「自分で発見する」

学ぶことは辛いこと?耐えること?つまらないこと?大人がただ答えを与えてしまったらそうなるかもしれません。大人でも同じですね。マニュアルに書いてあることをマニュアルの通りにこなす。でも想像してみてください。あるとき、「こうした方がもっと効率的だ!」とか「マニュアルを応用して、こうした方が上手いく!」という自分なりの発見をした時、一気にモチベーションが上がる感覚を体験をしたことはありませんか?「自分で発見する」それ以上の学びはないはずですし、自分で発見した答えは、与えられた答えよりもっと意味を持ち、最も納得できるものであるはずです。

モンテッソーリ教育の小学校にも問題集は存在します。しかしその問題集の裏や別紙に、解答集は存在しません。なぜなら、子どもたちは「正しい」答えを求めるために問題を解くのではなく、プロセスを理解するために問題に挑むからです。プロセスを理解すれば自ずと正しい回答に導かれるはずで



本当の学びは「プロセス」の中にある

偉人たちの発見を追跡可能にすること。偉人たちの発見の過程を体験すること。そしてあたかも子ども自身が人類で初めてこの発見や体験をしたかのような経験をする。それがモンテッソーリ小学校の学びです。結果や結論を与えられ、それを覚えることが学びではありません。そのためには大人はどんな環境を用意し、何をどのように援助するか、一歩、いや三歩くらい下がって子どもの学びを「保証」する必要があります。

そうは言っても、日本で定められた全ての小学校課程のカリキュラムを網羅することができるのかという疑問が出てくるのは当然です。それに対する回答は「それ以上」です。

3-6レベルの教具と内容を全て網羅したとき、算数でいえば3、4年生レベルのことがもう終わっていることに気づきました。ただ形や形態、見た目が違うだけです。紙の上に書かれた数式か、または十進法ビーズを使って手で身体で物を操作して自分で導き出しているか、の違いです。

「試験の点数」や「学力を測る」とことは、大人の目には見えやすく判断しやすいものかもしれませんが、それらは一側面的な「結果」でしかありません。全ての学びと体験や感性を点数化することなんてできませんし、私たちはその考えから脱却しなければなりません。



Delft, The Netherlands
13-15 May 2022

実社会で必要になるスキルはどちらでしょう？角度や耐性などを正確にださなければならない建築士、薬剤の量を間違えずに投与しないといけない看護師など、特殊スキルを必要とする職業も確かにあります。しかし彼らは、作らなければならない数式と、そこから導き出さねばならない答えの内容（＝プロセス）を理解しているからこそ、数字や数式のシステムに辿り着いているはずです。

大人も子どもも共に学ぶ。日常生活の中で

学びは、いつでもどこでも起こり得ます。私たち大人でも日々知らないことに直面し、知りたければ調べます。昨日まで知らなかった世界に、半歩、一歩踏み出し、新たな知識を得ていきます。

1年生から6年生まで、いつ、どこで、どのように、何を学ぶか、答えをただ与えられたり暗記させられたりして学ぶのか。はたまた自らの探究心に導かれ、少しのチャレンジを繰り返し、最適なサポートを受けながら、体験を通して自分のものにしていくのか。

私たちの知っている「学び」の世界＝既存の「学校」システムという快適ゾーンから、勇気をもって一歩踏み出し、共に新しい世界を見てみませんか。



Q:モンテッソーリ教育は、何歳から始めるのがベスト?

Aその1:何歳からでもOK!

モンテッソーリ教育は手法や技術、道具(教具)ももちろんありますが、そこに頼る部分はモンテッソーリ教育を全体像で見た時にはごく一部です。基本的には教育哲学であり、ものの捉え方であり、「大人の態度」によるところが大きいためでもあります。そのため、次のように言えるのも事実です。

Aその2:受精の瞬間から!または0歳から!

大人の態度や考え方、在り方が子どもの発達に大きく影響を与えるとするならば、命の誕生する「受精の瞬間」に「受け入れられている」「自分の命は喜びに値する」と思えるところから始まっていると言えます。モンテッソーリ教育0-3レベルの勉強は、受精の前の段階、解剖学、生理学から始まります。

とはいえ、モンテッソーリ教育に触れるのは早ければ早いに越したことはありません。大人にとっても子どもにとっても。

大人にとっては、この教育(哲学)に出会うことで、「自分が育てられた方法」以外の子どもの見方が発見でき、子どもの本来の発達の道筋に従って援助できる知識を得られます。

子どもにとっては、モンテッソーリ教育でいう「吸収精神」と「敏感期」に助けられ、早ければ早いほどその恩恵にあやかり精神を解放させ自分自身を自分で発達させていく(内なる自己教育力に従って)ことができます。

私がモンテッソーリ教育に出会ったのは、高校で英語教師として勤めている時でした。高校生にモンテッソーリ教育?遅すぎるでしょうか?私は目の前の高校生を相手に、この哲学と手法を用い、子どもたちが変わったのを目の当たりにしました!目がキラキラ輝き、自ら学びたい、自分の人生を自分で生きたいと思う子どもたちが現れました。本当にそうでしょうか。子どもたちが変わったともいえますが、同時に私という大人の視点が変わり、態度が変わり、子どもたちの元々もつ積極的な姿を見ることができるようになったのです。子どもたちはいつだって用意ができていたのだと確信した瞬間でもあり、だからこそ、早い段階からこの教育法を子どもたちのために活用したいと、カーサ・デ・パンビーニを開園しました。さらに「もっと早いほうがいい」と思って0歳からのモンテッソーリ教育「RIVERWALKこどもの家」「モンテッソーリ・バースセンター」を立ち上げました。そうして今、この続きの環境を作るべく、小学部にのりだしているところです。

モンテッソーリ教育 年齢ごとの比較

【0-3レベル】 Help me to BE myself

ミルクを飲むのも、寝返りをするのも、泣くのも、全て意思の力の賜物です(もちろん、生きていくための「原始反射」から始まります)。歩き始められるように、大人が時期や訓練を用意して「ほら、そろそろ歩く時期だよ。歩くには、右足を出して、その次に左足を出して…かかとからこうやって…」と教えるのでしょうか?まさか!ではどうやって赤ちゃんは歩けるようになるのでしょうか。赤ちゃんの中にある「何か」に突き動かされ、衝動的にやり遂げてしまうのです。その「何か」こそが「自己教育力」(モンテッソーリ教育の専門用語では「ホルメ」や「ムネメ」などという)なのです。

この0-3歳の時期に必要なのが「人間になること」です。二足歩行をし、あいた両手を使って活動を行う、ものを移動させたり、形を変えたりして、環境に変化を及ぼしていくこと、それこそが「人間になること」なのです。そのため、毎日の人間社会における生活の基盤を身につける必要があります。

排泄、固形物を自分で食べる、着脱、寝る、ことに始まり、掃除をしたり、ものを磨いたり、食器を洗ったり、クッキングをしたり。人間になるためには「言語」も必要ですし、音楽や絵画などの「アート」も不可欠です。それらの要素がふんだんに盛り込まれた0-3のモンテッソーリ環境の中で活動し、子どもは人間としての「自分自身(BE myself)」になっていきます。



【3-6レベル】Help me to DO myself

日常生活の中の様々なことを雑多に経験してきた3歳児は、自己教育力によりそれらの経験を「まとめていく」「秩序立てていく」段階に入っていきます。3-6歳のモンテッソーリ環境には、経験を、論理的に整理して筋道立ていくため、5領域に分かれた「教具」が用意されています。なんとなく触っていた形に「名前」があることを知り、同類と異種のもの分類ができるようになり、言葉には「文字」があることを知り、これまで口からでた言葉は消えていっていたのに、文字で残ることを知ります。



なんとなく数えていたものが「進法」という法則に整理され、どうやら自分たちの住んでいるのは「地球」という宇宙にぷかんと浮かぶ惑星であることを知ります。フォトリーディングのように物事が無意識と意識下の両方でどんどん吸収され、この世界の素晴らしさに夢中になります。夢中になるからこそ、1000のビーズを(いち、に、さん、し…よんひゃくごじゅうご…せん!)と何日もかけて数えることが苦にならないのです!

そのような、自分の周りにある全てものごとを「自分ごと」にしていくために、自分で手と体を意図的に動かして活動すること(DO myself)が必要になります。だから、自分で荷物を用意したり、自分の荷物は自分でもったり、自分の足で歩いて目的地へ行ったりすることが必須なのです。



【6-12レベル】Help me to THINK myself

6歳以上になると「敏感期」や「吸収精神」はほとんど消えて無くなっています。そのため、何かをし始めたり、成すには、チャレンジする勇気と意思の力が必要となってきます。吸収精神の代わりにやってくるのが「理由付けの精神」です。6歳以上の子どもが持つ脳(精神)の働きで、いろいろな物事の関係性を知りたくなります。

6歳までに培った論理性や比較する力で容易に情報を得るようになり、どんどん学ぶ、どんどん覚える時期です。学習に最適な年齢ともいえます。スポンジのように学んでいくので、自由に選択したり探索するのを許されたり、環境を与えられたりすれば、物事の原因を深く深く探っていくことができます。抽象化も進むので、目の前にないものを想像したり語ったりすることが可能になります。

この時期もまた、自分の手と頭と足を使って、この世界の、自然の、あらゆる法則を自分の意思で探索し、発見し、考え、自分の言葉で説明できるようになれば(THINK myself)、最高の「学び」になるのは言うまでもありませんよね!



結論

大人がモンテッソーリ哲学をもっていればいつからでも「本当の子どもの姿」を発見し子どもの命が望む発達を援助することができます。

子どもは何歳からスタートしても順応できます! ただし、年齢が高くなるにつれて意思の力と努力が必要となります。

活動報告◆2021年4月～2022年6月の主な活動

- 4月8日 発起人会
- 6月5日 オンライン保護者会 NPO理事、会員を募集
- 6月29日 総会にて「NPO法人 Scuola dei Bambini」に名称決定!
- 8月上旬 熊本県オルタナティブスクール「Wing School」視察
- 9月27日 NPO法人 Scuola dei Bambini設立
- 10月中旬 「平尾台キャンプ」実施
- 10月～2022年3月 KCS、他NPOによる勉強会
- 11月1日 認可外保育園Piccoli開園
- 11月20日 びびんこ協働プレゼン
- 2022年2月上旬 びびんこ採択助成決定
- 3月上旬 年中・年長、小1生の「お泊り保育」
- 4月 体験型学習開始、「光楽園」視察
- 5月 スコーラキッズ募集



Pick up! ◆ピックアップ

8月上旬 熊本県オルタナティブスクール「Wing School」視察

年中～小学2年が低学年、小学3年～6年が高学年と区切られ、低学年の方は「感性を開く」ことを目的とし、先生と近隣の川で思いっきり遊ぶ、探索活動をするといった活動に注力。子どもたちが自由に遊び尽くす中で先生一人一人がこどもの強みや個性をしっかりと観察して声かけをしている様子がわかりました。この時期に感性を養い、座学による「知性」を培うことで、3年生以降の本格的なプロジェクトに自らの意思と創造性を持ってやり遂げることができる（「創性」）。スコーラでも取り入れたい活動のあり方のヒントを得ました。



10月～2022年3月 NPOによる勉強会 参加

北九州市内で活動中の先輩NPO団体から運営や活動のノウハウを習得するだけでなく、人脈も広がる勉強会に毎月参加。特にスコーラの理念と同じ目線の他団体との繋がりもできたことで、地域社会と共に成長していくことのできるスコーラの基盤作りができ、また北九州市にこんな学校ができようとしている、と知ってもらえるきっかけにもなりました。



10月9日～10日 「平尾台キャンプ」開催

NPO会員、合同会社カーサ・デ・バンビーニ職員とその家族に呼びかけ、小規模で1泊2日の親子キャンプを開催しました。テント張り、夕食作り、キャンプファイア、山歩き、川遊びと盛りだくさん。初日の夕方、カーサ年中児（当時）Kくんのお母さんが、「保護者も体験!モンテの平和教育～子どもから平和が始まるとは～」と題したワークショップを開き、キャンプファイアの炎を囲んで熱く語り合いました。2日目、菅生の滝で川遊び。年長児（当時）Rくんのお父さんが大活躍!川の中の小魚のを見つけ方や捕まえ方、魚のことを教えてくれて大人も子どもも興味津々。



11月～ 「びびんこ協働」に応募、採択決定、協働開始

「ソシオファンド北九州」による社会課題の解決を目的とした事業・団体に対して経営サポートを行うプログラムです。「全ての子どもたちが最適に学ぶ」という理念に基づいた小学校構想に共感していただき、50万円の資金提供を受け、約1年間かけて経営サポートを受けています。

5月 体験型学習として「池作り活動」実施

「教わるのではなく、自ら学ぶ」という子どもの主体性を引き出すことや、子どもたちの活動に対する観察を主な目的とした「課題解決型学習」を行いました。職員の子どもを中心としたメンバー9名で、地元の造園業者さん協力のもと実施。「この大きさの池枠をすっぽり埋めるには穴はどのくらい?」「モルタルを調製するには1:1の砂とセメントが必要。1:1って?」。全身を使って掘る、運ぶ、水を入れるといった様々な作業を通じた学びとなりました。個性豊かな子どもたちの目的意識や、チームビルディングの構築を教師側の課題として捉えながら、次回の参加型体験学習やプロジェクト型学習につなげていきたいと思います。



今年も会員向けのイベントを企画していきます。
この機会に是非会員登録されませんか?

卒園児の部屋

Room of graduates

4月のとある土曜日、数人で皿倉登山に行った時の話。理想の小学校像について大人(Adults)が話していると、同い年でカーサ卒園児のMaririとKentoが次のような会話を始めました。



Kento 「育美先生、学校作るなら、黒板とチョークとか、机とかいっぱいいるねー。買わなきゃ!」

Mariri 「え?黒板とかいらんよ?」

Kento 「え、だって先生じゃあどこに立って教えるん?」

Mariri 「そこらへんよ」

Kento 「先生が授業せんかったらどうやって勉強するん?」

Mariri 「自分で考えて、決めて、するんよ」

Adults 「朝はどんな風に学校スタートするの?」

Mariri 「朝、クラスルームに入ったら、まず、アジェンダ書くんだよ」

Adults 「ええーっ!?!」「アジェンダって、何?」

Mariri 「アジェンダってね、今日何するか、自分で考えて書いておくんよ。自分が何を勉強するのか、自分で決めて、その内容をその日していくの」

Adults 「え、じゃあ、自分で決めて勉強するの?課題とか、これしなさいとか、言われないの?」

Mariri 「言わんよ。だって自分で決めたことだから、それするだけだよ。もし終わらなかったら次の日に回してもいいんよ」

Adults 「どんなことしてるの?」

Mariri 「足し算とか、引き算とか、掛け算とか、割り算。他にも、Outside workとかね、外に行って作ったりするよ。あと、お話とか」

Adults 「…(想像もつかない)」

Scuola小学部ができれば、まず黒板ではなくて個人のアジェンダノートを用意しようと思います!



教室入ってすぐの扉に貼ってある、On going workと、Follow up work、これを見ながら自分の活動(学び)を組み立てアジェンダに書きます。



3-6の教材の続きの教具。同じ教具も引き続き使って学びます。



IMI 6-12コースへの参加を検討中です!

ヨーロッパ(イタリア・ベルガモ市)での歴史ある6-12歳レベルのトレーニングセンターへの入所を考えていましたが、距離やビザ、生活拠点などが課題でした。すると奇遇にも、デルフトのIMIでオランダ初のAMI認定6-12レベルのトレーニングコースが開設されるとの朗報が入ってきました!現在、9月からの参加を前向きに検討中です!IMIでは、0-3レベル、3-6レベルのトレーニングコースもあり、オランダで本格的にモンテッソーリ教育を学ぶのにオススメです!ビザや暮らし方など、いつでも相談に乗りますよ!

<https://imi-global.nl/>



予告! 2023年9月
Scuola dei Bambini小学部開校予定!

モンテッソーリ6-12歳レベルのトレーニングコース修了を目処に、インターナショナルモンテッソーリ小学校の開校を目標にしています!

Summer Boarding School

3泊4日
サマースクール

★自己教育力を高め、自分自身で切り拓いていく力を養う

★保護者の元を離れて生活することで、自ら生活を組み立てられるようになる

★共同生活、作業から他者と共に生きることを学ぶ

★多様な価値観に触れ、感性を養う

★「経験」は楽しい、「学ぶ」ことは楽しいを体感する

日程: 3泊4日

【1期】7月27日(水)～30日(土)

【2期】8月8日(月)～11日(木)

【3期】8月17日(水)～20日(土)

場所: 門司区大里桃山町「世界のよしこ邸」

定員: 1期につき7名まで(先着順)

対象: 年長～小3生まで(小4は応相談)

費用: 1期 39,000円

※子どもたちが決めた行き先(施設等)に応じて入場料などが発生、別途徴収する場合があります。(1,000円程度)
※兄弟割引あり(2人目以降20%OFF)。兄弟は別日程を(別の期)をおすすめします。

チームビルディング、プロジェクト型学習、
昼食・夕食作り、山登りや関門付近散策など
各期最終日は親子のスペシャルイベント!!

お申し込みはお早めに!
【先着順】



よしこさん、
4度目の世界一周中に
お宅をScuolaの活動に
使わせていただきます。



WORLD TOUR

5泊7日ワールドツアー

★異国の地を踏む

★親子で多様性に触れグローバル感覚を養う

★文化的視野を広げる

★自分とは違う価値観に触れ、自分のキャパシティや考えに気づく

日程: 8月24日(水)～29日(月) (日本着は30日予定)

訪問先: オランダ

・アムステルダム

・デルフト

・ロッテルダムなど

定員: 5家族まで(先着順)

だいたいの費用: 約60万円～

(親子ペアの飛行機代、宿泊費、食費、お小遣いなど)

※各自手配支払い分も含みます

ツアー詳細は
お問い合わせください

お問い合わせフォーム



モンテッソーリスクール視察や
美術館巡りなど
オランダ満喫ツアー



ON GOING... Cooking Project

クッキングプロジェクト

小倉ではなじみ深い「ぬか」について、育てるから食べるまで

Day 1

普通のキュウリとぬか漬けキュウリの食べ比べ
まずは違いを感じてみよう!! 切る前の見た目、固さ、匂い...
切ったときの切り心地、柔らかさ、匂い、美味しい! 酸っぱい!
どう違った? 「ぬか」って何? どんなふうにならされてるの?
どれくらい時間がかかる? 「はっこう」って?



5月末、
白銀町にあるぬか炊き専門店
「まいこのぬかだき」さん
にお話を伺いに行きます。



イベント情報などは
こちらから

LINE



Instagram



Facebook



Note



野菜を作ってみよう!

Day 2

プランターに
種を植えて育てます。



Day 3

日々の水やり、
育てるのが楽しみ!

Day 4

肥料って?!



Day 5 小さな実が
ついた!

Day 6...

ぬかを作ってみよう!

ぬかの素からぬか作りに挑戦!
毎日しなきゃいけないあることは...?

その他の体験型イベント

池作りに続いて...

★電気工事体験

★鍾乳洞ツアー

★ホテルを見に行こう

※詳細は後日お知らせいたします。

Scuola
dei
Bambini



NPO法人 Scuola dei Bambini

北九州市小倉北区吉野町12-19

会報誌Vol.002

2022年6月22日発行